

2017年度（平成29年度）

研究部門名 地球表層科学研究部門

講座名 地史古生物学分野

教員名 亀尾 浩司

電子メール kameo 理 faculty.chiba-u.jp

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌 ・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI(付与されている場合)
(1)	Goto, K.T., Nozaki, T., Toyofuku, T., Augustin, A.H., Shimoda, G., Chang, Q., Kimura, J., Kameo, K., Kitazato, H., Suzuki, K.	Paleoceanographic conditions on the São Paulo Ridge, SW Atlantic Ocean, for the past 30 million years inferred from Os and Pb isotopes of a hydrogenous ferromanganese crust	Deep-Sea Research Part II	146	82-92	2017	doi.org/10.1016/j.dsr2.2016.10.010
(2)	菊川照英・相田 昭・亀尾浩司・小竹信宏	鹿児島県種子島北部、熊毛層群西之表層の地質	地質学雑誌			印刷中	
(3)	Chiba composite section community member	The Chiba Section, Japan: a proposed Global Boundary Stratotype Section and Point (GSSP) for the base of the Middle Pleistocene Subseries	-	-	-	2017	千葉セクション（チバニア）を国際標準模式地へ推薦するための申請書。著者：Yuki Haneda, Hiroki Hayashi, Misato Hongo, Kenji Horie, Masayuki Hyodo, Atsuo Igarashi, Osamu Ishizuka, Toshiaki Irizuki, Takuya Itaki, Kentaro Izumi, <u>Koji Kameo</u> , Moto Kawamata, Kenji Kawamura, Takahiro Kojima, Yoshimi Kubota, Jun-Ichi Kimura, Hisao Kumai, Hiroomi Nakazato, Naohisa Nishida, Masaaki Okuda, Jun'ichi Okuno, Makoto Okada, Yasufumi Satoguchi, Ryoko Senda, Quentin Simon, Testuo Sueyoshi, Kizuku Shikoku, Yusuke Suganuma, Manami Sugaya, Yoshihiro Takeshita, Mami Takehara, Masami Watanabe
(4)	井手康太郎・亀尾浩司	石灰質ナanno化石に基づくインド洋、大西洋、および東部赤道太平洋における前期-中期中新世の表層海洋環境変遷	JpGU-AGU Joint Meeting 2017			2017	
(5)	亀尾浩司・羽田裕貴・久保田好美・菅沼悠介・岡田誠	Biostratigraphy of calcareous nannofossils and inferred sea surface conditions around the Brunhes-Matuyama Boundary of the Kokumoto	JpGU-AGU Joint Meeting 2017			2017	

		Formation, Kazusa Group, distributed in the Boso Peninsula, central Japan					
--	--	---	--	--	--	--	--

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 3名
- ・大学院修士 2名
- ・大学院博士 1名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

担当科目

（普遍）地学基礎実験 D, 地球環境史

（学部）層序学概論 2, 地質調査法, 地史古生物学実験 I, 地質学野外実験 I, 地質学野外実験 II, 地史古生物学 I-1, I-2, 卒業研究, 地球科学演習

（大学院）層序学特論 2, 地史古生物学 IV, 地史古生物学 V, 特別演習 I, 特別研究 I, 特別演習 II, 特別研究 II

(4) 国際会議出席と招待リスト

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等（報道媒体, 報道年月日, 報道内容等）

所属	職名	氏名	報道媒体	報道内容	年度
理	准教授	亀尾浩司	テレビ, 新聞等	茨城大学, 国立極地研, 千葉大学, 国立科学博物館を中心とする研究グループが千葉県市原市にある地層「千葉セクション」を地質時代の国際標準模式地として申請した件と, 第一次の審査（第四紀部会のワーキンググループ）によって, 候補地として上位委員会に推薦された件について, プレス発表を行った。	29

(6) 国際並びに国内学会での受賞（賞名, その内容, 受賞理由等）

所属	職名	氏名	賞名	備考	年度
理	准教授	亀尾浩司	日本地質学会論文賞	著者：野崎篤, 間嶋隆一, 亀尾浩司, 坂井三郎, 甲田篤郎, 河瀨俊吾, 和田秀樹, 北里洋	29

(7) 国際共同研究（共同研究名, 研究内容等）

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動, 学会、国、県などへの協力, など

本地質学会理事

日本地質学会代議員

日本地質学会関東支部幹事

石油技術協会探鉱技術委員会委員

市原市地磁気逆転地層保存活用検討委員会委員

(9) 特許 (発明者名, 発明の名称, 出願日, 出願番号, 整理番号等) (現時点で公表できるもののみ)